

# 同意説明文

平成 30 年 4 月 1 日  
公益社団法人 北海道作業療法士会  
会長 清水 兼悦

現在、公益社団法人 北海道作業療法士会学術部学術課（以下、学術課）では、生活行為向上マネジメント（以下、MTDLP）を活用した作業療法実践事例の蓄積・データ化を目的に作業を進めております。つきましては、貴方が発表される生活行為向上マネジメント事例検討資料について、学術課が分析することについて承諾していただきたく存じます。以下の説明を確認していただき、同意される場合は同意書への署名をお願いいたします。

## 1. 目的

MTDLP の実践事例に関する資料を蓄積・データ化し、その内容を分析することで、会員に還元できる学術的情報の構築を目的としております。

## 2. 方法

発表者の皆さまには、教育部に提出する「マネジメントシート」、「課題分析シート」、「事例報告のサマリー」に加えて、発表当日に「一般情報シート」をご提出いただきます。これらの資料に対して、学術課が事例の一般情報や生活行為で焦点化した ICF コード等を分析し、データ化します。

## 3. 参加協力の任意性と撤回の自由

学術課への書類提出は、貴方の自由意志にお任せします。なお、こちらに同意しなくても、事例検討会での実践報告を行うことは可能です。同意および、同意撤回は、書面にて行います。同意撤回を希望する場合には、下記担当者へ連絡下さい。ただし、同意撤回の期限は、データ分析が開始される前までと致します。

本趣旨に同意いただけない場合や、期限前に同意を撤回する場合であっても、貴方が不利益を被ることは一切ありません。

なお、同意の際には、被報告者または、その代理人から同意が得られていることを証明する同意書の提出が前提となります。

## 4. プライバシーや人権の保障

個人情報保護のため、発表者の名前と報告事例に関する情報は、連結可能な匿名化をし

て、扱います。

得られたデータとして、連結可能対応表、電子データの入った記憶媒体、紙資料を鍵のかかる引き出しの中で厳重に保管します。保管場所につきましては、データ収集から解析までの期間は学術課長が所属する機関とし、解析後は北海道作業療法士会（以下、道士会）事務局とします。

## 5. 公表の方法

提出書類を通して得られた情報の解析結果は、道士会のホームページや電子ジャーナル「作業療法の実践と科学」、道士会会員向けのニュースなどで公表される予定であります。ただし、発表者および報告事例に関しては、匿名で扱います。

## 6. その他

提出していただく資料のうち、「マネジメントシート」、「課題分析シート」、「事例報告のサマリー」は、発表者が教育部に提出したものを学術部学術課が使用させていただきます。また、資料を提出していただいた後、データ化作業においてデータの未記入等が確認された場合は学術部学術課から直接、発表者に資料に関する問い合わせを行うことがあります。そのため、学術部学術課が教育部から発表者のメールアドレスを教えてください。ご了承ください。

## 7. 問い合わせ先

ご不明な点がある場合、また、同意を撤回したい場合には、下記連絡先へご連絡ください。

担当者：北海道作業療法士会 学術部学術課長 中村裕二

(連絡先)

札幌医科大学保健医療学部作業療法学科

住所：〒060-8556 札幌市中央区南1条西17丁目

電話：011-611-2111（内線 28820）

E-mail: yujin●sapmed.ac.jp

(●は@となります)